

一般質問



ふるさと寄付金・ 企業版ふるさと寄付金 確保への意欲と目標値

問 以前にも、ポータルサイト内の返礼品の写真や説明文を含めて、レイアウトの変更などを求めたが改善状況は。

答 入替が必要な写真の撮影はほぼ終了したが、文字入れ等の画像編集が遅れている。

再発言 より多くの寄付金獲得のため、画像への文字入れや説明文には寄付者の気を引くような表現を求める。

問 2020年度の企業版ふるさと納税の全国の寄付実績は110億円で、2019年度と比較して約3.3倍に増えている。

ふるさと納税制度のように、後発の自治体とならぬよう、今後どのような姿勢で取り組むべきか、市長の考えは。

答 通常のふるさと納税と同様に、財源確保の有効な手段の一つと考える。企業側も社会貢献や税制面でのメリットがあり、市が取り組むまちづくりに賛同してもらえよう十分説明する機会を捉え、寄付のお願いをしていきたい。

問 企業版ふるさと納税の来年度目標額を市長が示しては。

答 内閣府より地域再生計画の認定を受けており、この中で寄付上限を4年間で5億円としている。少しでも近づけるように努力していきたい。



公立中学校の制服選択制

問 ここ数年、女子生徒の制服にスラックスを取り入れる学校が増えている。動きやすさなどの機能面や性的少数者

(LGBT)への配慮の必要性など、時代の変化に合わせる視点から制服を見直してはどうか。

答 現在、中学校校長会の制服検討委員会において、制服のズボン・スカートの選択制を含めた議論をしている。

今後は、保護者の意見を聞きながら来年度の本格的な検討に向けて準備を進めている。

再発言 生徒が快適に過ごせるよう、学校再編を機に利便性やジェンダーレスに配慮した制服を選択できる制度導入

の検討をお願いしたい。

全国工場夜景サミット

問 全国工場夜景サミットに参加し、全国に大牟田をアピールしてはどうか。

答 本市の工場夜景については、他都市の取組の事例も参考にしながら、観光資源としてどのような活用ができるのか、市内事業者の意向なども十分確認し、その上で、全国工場夜景サミットへの参加についても検討をしたい。



教育現場のマンパワー増強や 教育委員会の体制強化のための 予算確保を

問 教育長が6月議会で大牟田の教育の課題として上げた学力アップへの取組状況は。

答 各学校の実態に応じた学

力向上プランの見直しや少人数授業、学習サポーターの派遣などに加え、全教科の教育講座等による教職員の授業力向上に取り組んでいる。

問 現状分析とその情報共有、学習サポーターをはじめとするマンパワーの充実、指導員の配置による先生の授業力アップ、そしてこれらを推し進めるための教育委員会の体制強化が必要だと思うが、市長の考えは。

答 様々な施策、体制づくりをできる限り支援していく。

議会との連携を密にし、 庁舎整備をよりよいものへ

問 これまでの庁舎整備に関する議論の経緯を踏まえ、コストや積算根拠などの情報開示を積極的に示してはどうか。

答 今後、議会や市民へ積極的に分かりやすい情報を示しながら検討を進めていきたい。

再発言 庁舎跡地のまちづくりへの活用といった新しい可能性、選択肢も模索しながら、よりよい庁舎整備へ向け、議会と連携し取り組んでほしい。